

## けいすい

## 学校実態調査訪問 School Survey Visit

2026FIFAワールドカップが盛り上がっています。今回はメキシコ・カナダ・アメリカ合衆国と3か国共催となり、出場枠も拡大されました。W杯と言え、学生時代マラドーナ選手が5人抜きをしたのを見て、みんなで真似をしたのを懐かしく思い出します。きっと今の子どもたちもスーパースターと自分たちの姿を重ねているのだらうと思います。

さて、昨日、学校実態調査として長崎県教育委員会から4名、平戸市教育委員会から5名の先生が北小を訪問されました。

今年度の学校経営方針を、学校スローガンである“こえていく”を柱に説明しました。予習型の授業、学習の個別化、チーム体制の確立など、具体的な方法と現状について説明をしました。説明の後、授業を観ていただきました。子どもたちが真剣に学ぶ姿を観られて、“元気をもらえました”と、どの方も話をされていました。そして北小の職員がひとり一人を大切に、とても細かい点についても丁寧に指導をしている点を認めていただきました。

課題としては、授業が一方的になり、子どもたち同士の対話が少ない点など、今後改善が必要な点についても指導を受けました。

最後に、今年度の取組の成果を結果としてしっかりと出してほしいということ、“田平北小と言えば…”、教職員・子どもたち・地域や保護者の方が共通して答えられるものを特色としてほしいこと、この2つが課題として与えられました。今後の取組で実現を図っていきます。

## こえていく！学力向上編

Going Beyond!

Academic improvement Edition

学力向上の方法として今年度力を入れているのが予習型の授業と学習の個別化です。その中心的な取組の一つ、のびのびタイムが順調に進んでいます。

昨年度、希望者に対して行っていた基礎基本ののびのびタイムを今年度は全員を対象として行っています。

内容は、国語と算数の基礎基本です。子どもたちは自分でコースを選び、前半は国語、後半は算数の基礎的な問題にチャレンジします。合格したら修了書もらいます。1枚のプリント毎に修了書もらうため、どんどんと修了書がたまっていきます。貯めた修了書はファイルに綴じていきます。修了書一枚ごとに1点となり、それを縦割りの赤組と白組で競います。先週までのところ赤組は94点、白組は79点です。

基礎基本は大切ですが身に付きにくいものです。まずは学習への意欲を高めること、繰り返してできるまでやり抜く根気強さを養っていきます。



## 水泳の学習がんばっています！

I'm working hard on my swimming lessons.

子どもたちが楽しみにしている水泳の学習が始まっています。北小では、シーライフ平戸の方へバスで送迎してもらい水泳を行っています。各学年が2回行き、午前中を使って集中的に指導を行います。

今年度は、市の方から水泳指導委託事業として低学年を除いて指導の先生を2名派遣していただいています。また、例年通りボランティアの2人の先生も熱心に指導を手伝ってくださっています。本校職員と合わせて充実の指導体制です。



低学年はまず水慣れをして、もぐることや浮くことを行います。力を抜いて上手に水に浮くことができるようになると上達もぐんと早くなります。貴重な練習の機会を大切にして、子どもたちの泳力を伸ばしていきます。